

## 第9回 NEXT 長崎ミーティング in 県北 の実施結果

1. 日 時：令和5年7月21日（金）19：00～21：00
2. 場 所：RE PORT（佐世保市万津町）
3. テーマ：「県北地域の魅力や自慢、課題について語ろう」
4. 方 法：対面及びオンライン（Webex）を併用
5. 参加者：14名（対面10名、オンライン4名）
  - ・新規メンバー：5名（社会人3名、学生2名）
  - ・現メンバー：4名（社会人4名）
  - ・行政メンバー：4名
  - ・サポートメンバー：1名

### 6. 主な意見

#### 【県北地域の魅力や課題について】

- ・進路を決めるときに、友達や親と話すとき友達は「長崎を出たい」、親は「長崎から出てみたら？」という話ができる。出る先は福岡や首都圏がほとんど。そうやって出ていこうとする人たちを引き留めるのではなく、また戻ってきたいと思ってもらえるような長崎県になって欲しい。
- ・県の「ここ・こういったところが好き」という何か強い思いを持ってもらえるような長崎であれば、年齢を重ねたあとにでもみんなに戻ってきてもらえるようになると思うのでは。
- ・地域性や名物・名スポットも良いけど、人との出会いも大事。どんな人がいるか、どんな人に出会えるかで経験や地域への感じ方は変わる。
- ・小さいうちに県北地域や長崎ならではの経験を出来たかどうかで、その後に長崎に戻りたいと思うかどうかが変わってくるのでは。そんな経験・体験が出来る環境づくりも大切。
- ・今の時代、自分がやりたいことはどこでも出来る。一度県外に出る経験も、そのやりたいことを見つけに行くという意味ではとても良いこと。地元を離れるのは目的じゃなくて、手段だと思う。その人がいざ戻ってくるときに気持ちよく戻ってこれるような長崎になって欲しい。
- ・「生まれ育った町で仕事をしたい」と思って長崎で就職した。そんな風に思える長崎はやっぱりとても魅力的。
- ・県内でも、自分の住んでいる地域外の人や県外の人と接することで改めて見えてくる長崎の魅力がある。そういう経験を通じて自分の地元で改めて誇りをもつことが出来ると感じた。
- ・「長崎のことを知ろうよ、知ろうよ」と押し付ける感じが出るといけない。押し付けではなくて、自然と気付きが生まれるような、そんな機会を大人が増やしていかないとダメなのでは。小学生のとき、中学生のとき、高校生のと

き、それぞれの時期でふるさとに対する感じ方が違うので、その時々で長崎に対する気付きが生まれるようになるといい。

- 周りの素敵な人に出会える機会をみんなでつくれるようになれば、地域として、人が学び合って育ちあえる地域になるのでは。

#### 【当ミーティングについて】

- 今回の NEXT は、県北地域にゆかりのある方々の中でも、学生や社会人になりたての人たちが多く、様々な意見交換が出来たことは良かった。
- NEXT 長崎ミーティングを通じた新しい出会いやつながりが刺激になっている。いろいろな人と語り合っ情報交換できることが楽しい。
- 今後、県北以外の地域で開催された際も参加して、いろいろな方々と楽しくミーティングしてみたい。

#### 7. その他

- 次回は10～11月頃に開催予定。
- 開催方法等については、これまでのミーティングの内容を踏まえて検討する。